

ハーポ・マルクス

Harpo Marx

生年月日 1888/11/23

出身地 アメリカ／ニューヨーク

没年 1964/09/28

グルーチョ・マルクス（弟（三男））

関連人物 ゼッポ・マルクス（弟（五男））

チコ・マルクス（兄（長男））

【バイオグラフィ】

△ユダヤ系ドイツ移民の子孫。主に1930年代を中心にアナーキーで不条理な笑いを武器に活躍したコメディ・ユニット“マルクス兄弟”の次男。しゃべりの得意でなかったのを逆手にとって唾者を通し、そのかわり愛嬌のあるルックスと動きを披露し、その上ハーブの名手という特異なキャラクターを創り上げた。ハーブの演奏技術は、幼少時代に母親から中古のハーブを買い与えられ独学で学んだという。貧しさのため、幼い頃より一家でヴォードヴィル劇団を結成して巡業を行う。やがて、舞台上で成功を収めたのを機に、兄チコ、弟グルーチョ、ゼッポ（四男のガモは映画に出演せず）とともに映画の世界へ。29年、舞台上で評判だった「ココナッツ」の映画化でパラマウントよりスクリーンデビューを果たす。パラマウントとは5本の契約を結び「御冗談でショ」「我輩はカモである」というナンセンス・コメディの傑作を生み出す。しかし、興行的には失敗に終わり、「我輩はカモである」を最後にパラマウントから契約終了を言い渡されてしまう。その後、名プロデューサー、アーヴィング・サルバーグが彼らに声を掛けMGMへと移籍する。この時、ゼッポが脱退、以降“マルクス兄弟”はチコ、ハーポ、グルーチョの3人での活動が始まる。MGM移籍第1弾の「マルクス兄弟オペラは踊る」はいきなり大ヒット、批評家からも絶賛される。その後も、「マルクス一番乗り」「マルクスの二挺拳銃」など喜劇の傑作・快作を生み出した。マルクス兄弟の笑いは、同時代よりも後の喜劇人、映画人に計り知れない影響を与えた。64年9月28日、この世を去った。

【フィルモグラフィ】

ラヴ・ハッピー (1949)	出演
マルクス捕物帖 (1946)	出演 :ラスティ
ステージドア・キャンティーン (1943)	出演
マルクス兄弟デパート騒動 (1941)	出演
マルクスの二挺拳銃 (1940)	出演
マルクス兄弟珍サーカス (1939)	出演
ルーム・サービス (1938)	出演
マルクス一番乗り (1937)	出演
マルクス兄弟オペラは踊る (1935)	出演
我輩はカモである (1933)	出演
御冗談でショ (1932)	出演
いんちき商売 (1931)	出演
けだもの組合 (1930)	出演
ココナッツ (1929)	出演